

令和3年12月議会 宇都宮市議会定例会報告



一般質問
一問一答方式

中塚英範

質問項目

- 適切な情報伝達・開示がなされなかったLRT整備事業問題の全容解明と再発防止について
- 支援を必要とする子どもと親への対応強化について
 - 親と子どもの居場所づくり事業と子ども食堂について
 - 制度の谷間にある事実上の養育者への支援について
- 子育て家庭への経済的支援の拡充について
- 困難を抱える女性への支援について
 - 宇都宮市つながりサポート女性支援事業について
 - 小中学校への生理用品の配置状況について
- 教育行政について
 - 急増するネットいじめの対応について
 - ネットリテラシー教育について
 - 自主休校児童生徒への対応について
 - 学校と保護者間の連絡手段のデジタル化について
- ローカル5Gを活用



中塚英範市議
録画配信HPの
QRコード

したまちづくりについて

質問要旨

④ 困難を抱える女性への支援について

- 宇都宮市つながりサポート女性支援事業について

Q コロナ禍による、生理の貧困と言われる女性の経済的困窮や若年女性の自殺増加に対応するため、8月から開始された宇都宮市つながりサポート女性支援事業は、委託先の済生会宇都宮病院が生理用品の配布や相談業務を行っているが、NPOや民間団体等約30団体とも連携し、その取り組みを広げている。「お金はないのに生理は来る。子宮を取ってしまいたい」等、苦しい状況や胸の内を吐露する相談が多く寄せられている事からも、生理用品の配布を入口として相談・支援に繋がるこの事業は、来年度、国の交付金が付かない場合においても継続して行うべきと考えるが見解を伺う。

A 現在、国において地域女性活躍推進交付金の概算要求がなされている。本市においては、身近な場所で気軽に相談でき専門性を持つNPO等と連携することで適切な支援につなげることが重要であると考えことから、今年度構築したNPO等とのネットワークを活用し連携会議を開催する等、問題や課題を共有しながら女性が安心して生き生きと生活することができる寄り添った支援に努めていく。



一般質問
一問一答方式

高橋英樹

質問項目

- Uスマート推進協議会における取組について
- 地球温暖化対策について
 - カーボンニュートラルの実現に向けた取組
 - 電気自動車の普及促進に向けた環境整備
 - 市有施設及び街路灯・防犯灯のLED化
- 廃棄物対策について
 - ごみステーションの管理
 - 家庭系ごみの発生抑制の推進
 - たばこのポイ捨て
- 教育政策について
 - いじめ対策
 - 図書館の利用者サービス



高橋英樹市議
録画配信HPの
QRコード

質問及び答弁（抜粋）

2-1) カーボンニュートラルの実現に向けた取組【市長答弁】

Q 国の地域脱炭素ロードマップでは、今後の5年間で集中期間として地域脱炭素の取組を加速し、2030年までに全国で少なくとも100か所の「脱炭素先行地域」をつくり重点対策を実行するとしている

が、現時点で本市として脱炭素先行地域への参画を検討しているのか伺う。

A 先行的に脱炭素化を推進し、効果的な取組を市内全域に波及させることは、有効な方策の一つであると考えている。今後、国が公表する選定要件や評価事項などを踏まえ、本市が「脱炭素先行地域」として採択されるよう具体的な検討を進めていく。

2-2) 電気自動車の普及促進に向けた環境整備【市長答弁】

Q 本市の家庭向け低炭素化普及促進補助事業において、電気自動車の購入補助申請件数が低迷しており、電気自動車の普及促進が課題となっている。「公用車EVシェアリング事業」は、電気自動車を平日は公用車専用として、休日や夜間は市民や観光客などに利用していただくことで、電気自動車の普及促進や公用車の管理費用の低減につなげられるため検討すべきと考えるが見解を伺う。

A 公用車EVシェアリングは、電気自動車に対する市民の理解促進につながる取組であることから、効果的な実施場所や車両の調達も含めた管理運営方法などについて、先進都市の事例を参考にしながら検討していく。



一般質問
一問一答方式

宇梶 哲

質問項目

- 産業の未来都市の実現に向けた取組について
 - 中小企業・小規模事業者の振興の強化について
 - カーボンニュートラルの取組について
- 魅力創造・交流の未来都市の実現に向けた取組について
 - みやテレワーケーションについて
 - シビックプライドについて
- 暮らしやすく魅力ある都市空間の形成について
- 安全安心の未来都市の実現に向けた取組について
- 雇用・労働環境の改善について
- 地域共生社会の実現に向けた取組について



宇梶哲市議
録画配信HPの
QRコード

質問及び答弁（抜粋）

1-2) カーボンニュートラルの取組について

Q カーボンニュートラルの実現に向けて、様々な取組を進めるうえで、企業・市民の皆様の理解と協力が必要不可欠と考える。本市として、積極

的な設備投資等に取り組む中小企業・小規模事業者への、伴走型支援の取組は欠かす事ができないと考えるが目標の達成に向けて今後どのような支援策の取組を進めるのか見解を伺う。

A 新たな2030年度温室効果ガス削減目標達成や、カーボンニュートラルの実現に向け、市民・事業者・行政の取組を示す「宇都宮市カーボンニュートラルロードマップ」の策定を進め、令和4年度には産業振興に関する基本方針「うつのみや産業振興ビジョン」の改定に取組み、カーボンニュートラルへの対応、持続的に発展できる「経済・産業未来都市」の実現に向けた方向性を明示し、国や県の動向や事業者ニーズ等を見極め、脱炭素化に資する設備投資や新技術開発、業態転換等への支援策を検討していく。

2-2) シビックプライドについて

Q 子供から大人まで幅広い皆様が地元の理解を深め、うつのみやに「ふるさと」として愛着、誇りを持ってもらう「シビックプライド」を醸成する事が、宇都宮への移住、定住に繋がり、将来の観光の担い手を育成する観点からも重要であると考えが今後の取組について伺う。

A 今後は、本市の魅力が子供から大人まで幅広く伝わるよう、テレビや雑誌の他、ウェブやSNSなど、媒体を効果的に活用し、シビックプライドの醸成に取組み、移住・定住の促進や、観光・本市を支える人材育成に繋げていく。



一般質問
一問一答方式

郷間康久

質問項目

- 市長の政治姿勢について
 - ワクチンパスポート
 - 「やさしいにほんご」表記
- 消防団について
 - 団員減少と高齢化対策
 - 機能別消防団員制度
 - 組織の見直しと活性化計画
- 子ども政策について
 - 里親制度の普及促進・児童虐待防止策
- 都市魅力創造戦略について
 - デジタルマーケティング
 - キャンピングとグランピングの観光事業化
 - 餃子とビールのまちづくり
- 農業集落排水事業等3事業の地方公営企業化について



郷間康久市議
録画配信HPの
QRコード

質問及び答弁（抜粋）

2 消防団について

Q 消防団員数が過去10年間減少し続けている一方で、平均年齢は42.4歳まで上昇し、90%以上の充足率を維持する分団は現在6割程度しか存在しない。この現状を消防

長はどのようにとらえているのか。

A 中核市の平均と比較すると良好な水準を維持しているところだが、消防団員の確保は重要な課題であると認識している。

Q 特定分野に限定して消防活動を行うことができる機能別消防団員制度は県内25市町の6割、中核市の5割、全国では558自治体で既に導入されているが本市では未導入である。せめてOB団員の機能別入団を可能とってはどうか。

A 機能別団員制度は補完的な制度と捉えているので、OB団員については「基本団員」として再入団していただきたい。

Q （欠員や高齢化により）活動限界の部が多数存在しており、休部のところもある。部の統合や再編についての見解を伺いたい。

A 団員が少ない部については、隣接する部や分団の連携・協力により出動体制の維持に努め、地域の実情に応じて対応している。

【以下は再質問要旨】
消防団幹部の皆さんは団員に対して様々な配慮をしてくれている。消防局にはもっと危機感をもって消防団の現状と向かい合っていただきたい。基本団員の確保は大切だが「残された基本団員」の悩みや苦労にもしっかり目を向けるべきである。今後は時間をかけて団員の声を聴き、組織体制の見直しや機能別消防団員制度の導入検討、活性化計画の策定等に取り組んでいただきたい。

私たちは皆様の声を市政に活かします!!

次回3月議会質問予定者
駒場昭夫・福田智恵・小平美智雄